

継続事業評価シート

評価実施日 令和3年3月31日

令和2年度(4年目)

Table with 10 columns: 事業コード, 26, 事業名, 一次産業者等への事業化促進強化事業, 戦略コード, 3, 戦略名, 事業者が主役の商工会, 担当部名, 企業振興部, 担当課名, 経営支援課, 担当課長名, 佐々木隆太, 施策コード, 13, 施策名, 実効性の高い会員加入促進運動の推進

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

会員数の減少に歯止めがかからず、商工会の組織力低下が懸念されている中、会員増強による組織基盤の強化につながる取組が求められている。

2. 事業のねらい

経営形態が多様化してきている中で、一次産業者の商業分野への進出を促し、商工会への加入対象者の増大を図る。

3. これまでの評価結果

Table with 9 columns: 過年度, H29, -, H30, C, R1, B, R2

道の駅や農産物直売所への出店者に対し、ネットde記帳による記帳指導や販路拡大支援などを提案し、新規加入へつなげる取組を促した。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

県内の道の駅や農産物直売所等の実態調査を行い、会員予備軍となる一次産業者をリスト化し、当該地区商工会へ提供することで事業化に向けた動きを促進する。

【取組評価】

Table with 7 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows include 63 and 64.

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 17 columns for tracking performance metrics across years (H29, H30, R1, R2, R3) for various indicators like 指標名, 年度, 目標, 実績, 達成率, 達成度.

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈評価の理由〉

商工会地域経済活性化のためには、一次産業者の付加価値を高める必要があり、ネットde記帳による記帳指導や販路拡大を目的とした一次産業者等向けの支援は必要性が高い。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

一次産業者の商業分野への進出を促して、商工会への加入対象者の増大を図るというねらいに対し、事業の有効性は高いと思われる。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

各商工会で「商工会加入強化ガイドライン」に基づくアプローチを行うことで効率化が図られているとともに、SNS等の活用による情報発信により時間と経費のコスト縮減につながっている。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

コロナ禍において取組が限定される場面もあったが、県連会報やFacebookページ、プレスリリースを通じて、一次産業者に対する商工会のPRを行うことにより、当該地区商工会のアプローチのしやすい環境を整えた。

3. 課題

各商工会での取組を把握する仕組みを作り、成果の見える化を図る。また、一次産業者等に対し、事業化に向けた支援事例や商工会活動の満足度調査等の成果を紹介し、プロモーションを強化する仕組みが必要である。

4. 今後の対応方針(改善点)

一次産業者の商業分野への進出を促し、商工会への加入対象者の増大を図っていくためには、組織間の連携が重要となることから、県域農業団体等と相互に有効な農業者等への支援策について、協議・検討する場を設ける。